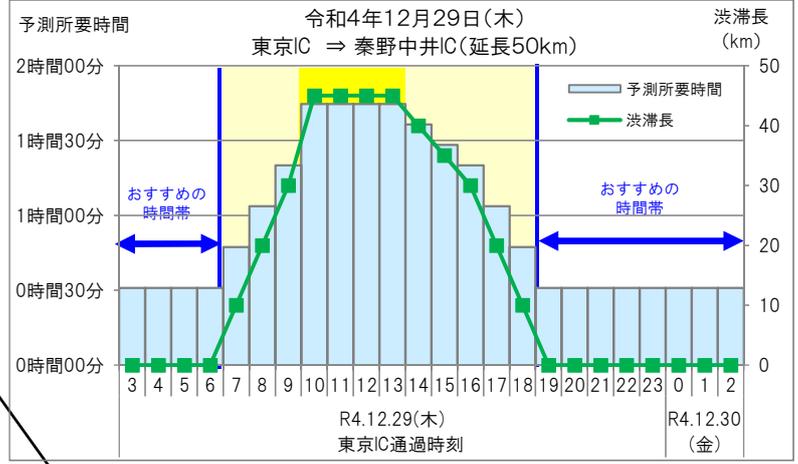


# 【別紙-2】 特に長い渋滞の回避例

## ①12月29日(木) E1東名高速道路(下り線)秦野中井IC付近を先頭とする渋滞[最大45km]

- ◆ 東京IC ⇒ 秦野中井IC区間を走行する場合、渋滞のピークは10～14時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約1時間45分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 東京ICを7時以前または19時以降に通過する場合の所要時間は約30分程度と予測しており、これら時間帯の利用をおすすめします。



◆ 渋滞原因:長い上り坂及びサグによる速度低下

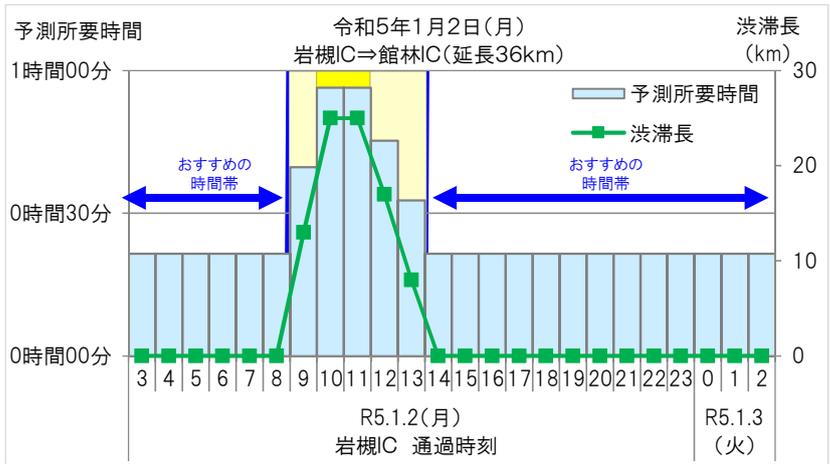
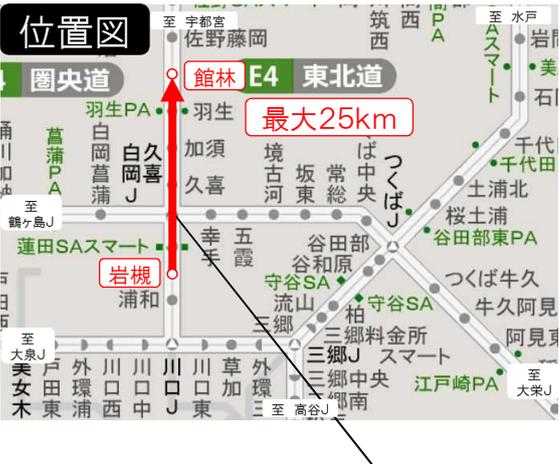
秦野中井IC付近は、下り坂から上り坂に変わるサグ部と長い上り坂が続くため無意識のうちに速度が低下してしまいます。LED表示板で速度低下ポイントをお知らせしていますので、周りの車に気をつけ速度低下にご注意ください。

<2022年11月完成:横浜町田ICの加速車線の延伸>

合流部の渋滞緩和のため横浜町田ICの加速車線を延伸しました。さらに、2車線ランプを分離型としスムーズな加速が可能とするためカラー舗装を実施しました。

## ②1月2日(月) E4東北自動車道(下り線)羽生PA付近を先頭とする渋滞[最大25km]

- ◆ 岩槻IC ⇒ 館林IC区間を走行する場合、渋滞のピークは10～11時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約55分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 岩槻ICを9時以前または14時以降に通過する場合の所要時間は約20分と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。

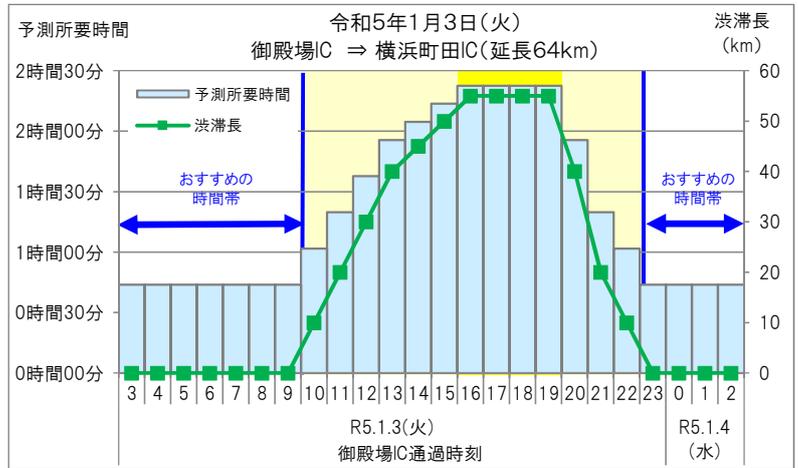


◆ 渋滞原因:サグによる速度低下

羽生PA付近では下り坂から上り坂に変わるサグ部で無意識な速度低下が起きやすく渋滞が発生してしまいます。渋滞ポイント標識により速度低下ポイントをお知らせしていますので、周りの車に気をつけ速度回復をお願いいたします。

### ③1月3日(火) E1東名高速道路(上り線)綾瀬SIC付近を先頭とする渋滞[最大55km]

- ◆ 御殿場IC ⇒ 横浜町田IC区間を走行する場合、渋滞のピークは16～20時で、渋滞がない場合に比べ約4倍(約2時間25分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 御殿場ICを10時以前または23時以降に通過する場合の所要時間は約45分程度と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。

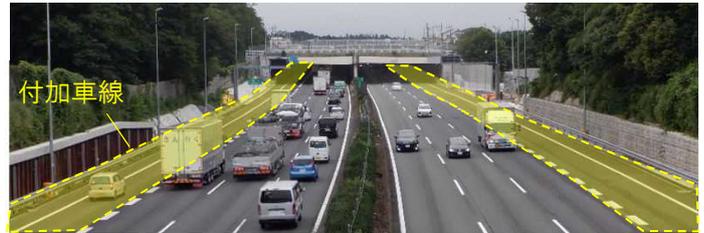


#### ◆ 渋滞原因: 付加車線合流部

綾瀬SICからの加速・付加車線の合流部において、車線数の減少に伴う速度低下により渋滞が発生します。合流部付近では、お互いにゆずり合ってくださいスムーズな合流にご協力をお願いします。

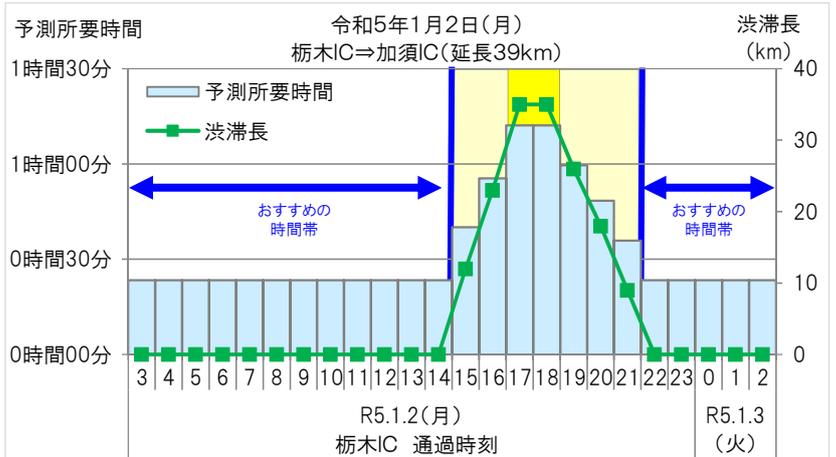
#### 渋滞回避のため付加車線を活用ください!

2021年7月に完成した大和TN付近の付加車線



### ④1月2日(月) E4東北自動車道(上り線)加須IC付近を先頭とする渋滞[最大35km]

- ◆ 栃木IC ⇒ 加須IC区間を走行する場合、渋滞のピークは17～18時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約1時間10分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 栃木ICを15時以前または22時以降に通過する場合の所要時間は約25分程度と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。



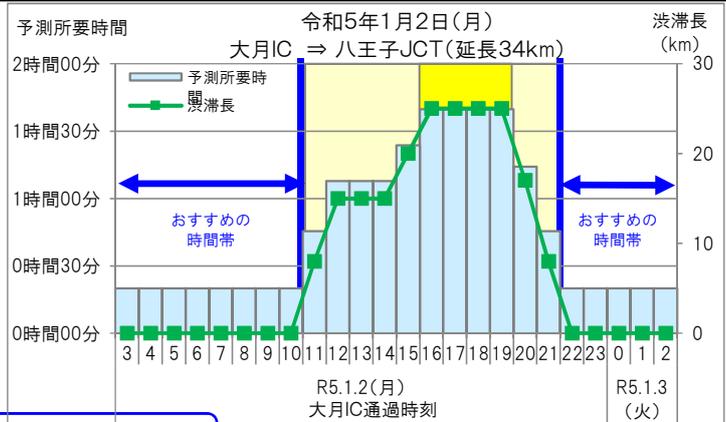
#### ◆ 渋滞原因: サグ部等での速度低下

加須IC付近はゆるやかな勾配変化が連続しており無意識のうちに速度が低下しやすくなっています。速度回復表示板で速度低下ポイントをお知らせしていますので、周りの車に気をつけ速度回復をお願いします。

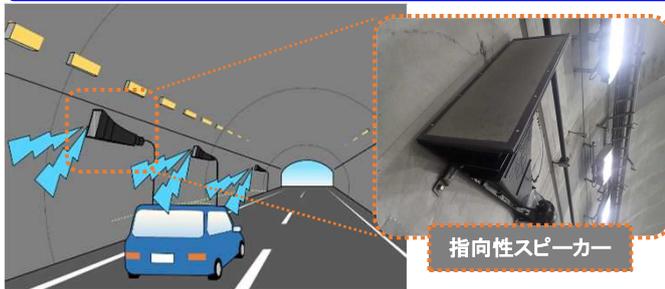


⑤1月2日(月) E20中央自動車道(上り線)小仏トンネル付近を先頭とする渋滞〔最大25km〕

- ◆ 大月IC ⇒ 八王子JCT区間を走行する場合、渋滞のピークは16～19時で、渋滞がない場合に比べ約5倍(約1時間40分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 大月ICを11時以前または22時以降に通過する場合の所要時間は約20分と予測しており、これらの時間帯の利用をおすすめします。



速度回復のための音声情報による渋滞対策を実施中!



◆ 渋滞原因: サグによる速度低下

小仏トンネル付近はサグからの長い上り坂とトンネルの影響から混雑期には交通が集中し、大きな渋滞が発生するポイントになっています。これまでの情報表示板による速度回復の啓発情報に加えた対策として、トンネル内に設置した指向性スピーカー※から発する音声で交通状況に応じた内容の速度回復情報を提供します。

※指向性スピーカーとは特定方向に絞って音を届けることができる機器で、通常よりも周辺への音の拡散を抑えることが期待できます。